

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年1月22日(2009.1.22)

【公開番号】特開2007-151707(P2007-151707A)

【公開日】平成19年6月21日(2007.6.21)

【年通号数】公開・登録公報2007-023

【出願番号】特願2005-348776(P2005-348776)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 2 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月1日(2008.12.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

X線を放射するX線管とこのX線管から放射されたX線が被検体を透過した透過X線量分布を検出すると共にこの検出信号を増幅するX線検出部を有し前記X線管とX線検出部とを対向させて被検体の周りに回転させるスキャナ回転部と、高電圧を発生する高電圧発生部と、この高電圧発生部からの高電圧を前記スキャナ回転部に供給する電力供給手段とを備えたX線CT装置において、

前記スキャナ回転部の回転で起電圧を発生させる電磁誘導発電手段をさらに備えたことを特徴とするX線CT装置。

【請求項 2】

前記電磁誘導発電手段は、
固定枠の周上に配置された磁性体と、
この磁性体に対向して配置されると共に前記スキャナ回転部の回転枠に配置され前記X線管の入力側に接続された巻線と、
を有することを特徴とする請求項 1 に記載のX線CT装置。

【請求項 3】

前記磁性体と前記巻線は、前記スキャナ回転部の回転軸方向に対向して配置されることを特徴とする請求項 2 に記載のX線CT装置。

【請求項 4】

前記磁性体と前記巻線は、前記スキャナ回転部の回転軸と直交する方向に対向して配置されることを特徴とする請求項 2 に記載のX線CT装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

前記目的を達成するためのX線CT装置は、X線を放射するX線管とこのX線管から放射されたX線が被検体を透過した透過X線量分布を検出すると共にこの検出信号を増幅するX線検出部を有し前記X線管とX線検出部とを対向させて被検体の周りに回転させるスキャナ回転

部と、高電圧を発生する高電圧発生部と、この高電圧発生部からの高電圧を前記スキャナ回転部に供給する電力供給手段とを備えたX線CT装置において、前記スキャナ回転部の回転で起電圧を発生させる電磁誘導発電手段をさらに備えたものである。